

～FD・講演会 参加者の声（抜粋）を紹介します～

- ・子供の認知症教育が始まっていることは初耳でした。
- ・福岡市の認知症対策について、多くのデータを提示していただき、とても勉強になりました。ありがとうございました。データも利用できそうですので、機会がありましたら利用したいと思います。
- ・データに基づいたprediction（予測）やそれに対する方策等を進めていらっしやって、市政の内容が分かりやすく楽しい講演内容でした。60分は短いですね。
- ・先を見て施策を立てるということが非常に参考になった。
- ・データの活用に興味があります。
- ・福岡市で進めている施策の一部を知ることができた。ほかの部分にも興味を抱きました。市民として聞く機会を探してみようと思います。
- ・福岡市が認知症のために様々なことを行っていることを知る機会を持ててよかった。自分の両親が高齢なので、体だけでなく心を健康のままにしていきたいと思っているので、とても参考になった。
- ・高齢化社会に伴い、今後増加していくであろう認知症の方々をサポートするための取り組みを福岡市がしっかりとされていることがよくわかりました。
- ・今後の高齢化社会における指針の参考になりました。
- ・福岡市の取り組みを理解することができました。データに基づいた施策は市民のよりよい生活に効率よく貢献するものと思われます。
- ・とてもよかった。ユマニチュードの実際がよくわかりました。
- ・認知症ケアとして注目を集める“ユマニチュード”とそれを情報学とからめて科学的エビデンスを集めようとする試みは画期的なことだなと思った。わかりやすくそれを説明していただき、とても感銘を受けた。
- ・福岡市の取り組みがよくわかった。他の町ではどの程度取り組みがあるか、あるいは効果が他の町とどのように違うか興味がある。
- ・先生のようにイキイキと知的な女性になれたらと思います。今日はありがとうございました。
- ・歯に対する子供のころからのアプローチのように、生活習慣病に対する取り組みも発症前段階から進んでいくといいと思いました。
- ・福岡市は日本全国を見渡しても数少ない“発展を続ける街”である。人口減少せず、成長を続ける理由が、このようなユマニチュードの試みにあるのかなと今回実感した。



九州大学病院 臨床教育研修センター
きらめきプロジェクト

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1

TEL・FAX：092-642-5203

E-mail：kirameki@jim.kyushu-u.ac.jp

URL：https://www.kiramekipj.kyushu-u.ac.jp/



きらめき通信 vol.82

2024年9月（隔月発行）

令和6年度

九州大学馬出地区4部局合同男女共同参画FD・九州大学病院臨床教育研修センター

きらめきプロジェクト講演会を開催

きらめきプロジェクトでは、プロジェクトの活動の一つとして、毎年、講演会・学生交流会・スタッフ発表会などによる啓発と周知活動を行っています。

今年度講演会は、福岡市副市長である荒瀬 泰子先生を演者としてお招きし、九州大学馬出地区4部局合同男女共同参画FDと合同で開催しました。

荒瀬 泰子先生は1978年に九州大学医学部を卒業されました。2015年4月から現在まで3期にわたり福岡市副市長として活躍されています。



九州大学 教職員・医学生・学生 対象

令和6年度
九州大学馬出地区4部局合同男女共同参画FD・九州大学病院きらめきプロジェクト講演会

9月11日(水)
18:00～19:00
九州大学病院 キャンパス内
アイン薬局九大馬出 2階大会議室

●講演
福岡市副市長 荒瀬 泰子 先生
(1978年 九州大学医学部卒)
「増える認知症と対策（福岡市）」

◆当日無料で申し込みいただけますが、スムーズにご入場いただくために、ぜひ事前に専用申込フォームからお申し込みをお願いいたします。
※申込はこちら→

◆高知を無料で利用できます。必ず専用申込フォームからお申し込みをお願いいたします。（申込締切 8月24日（金））
※高知申込はこちら→

【共 催】一般社団法人九州大学医師会
【企画 協賛先】九州大学大学院医学部臨床院（事務担当 医務学部事務部長兼講師岸厚生氏）
TEL：092-642-6245 E-mail：jcsoushijima.kyushu-u.ac.jp
九州大学病院臨床教育研修センターきらめきプロジェクト
TEL：092-642-5203 E-mail：kirameki@jim.kyushu-u.ac.jp



令和6年度 九州大学馬出地区4部局合同男女共同参画FD・ 九州大学病院臨床教育研修センターきらめきプロジェクト講演会を開催しました

日時：令和6年9月11日(水) 18:00~19:00

会場：病院キャンパス アイン薬局九大南店 2階大会議室

テーマ：「増える認知症と対策（福岡市）」



講演会の様子

講演では、福岡市の施策である「福岡100」をご紹介いただきました。
“「福岡100」では、なぜ、そしてどのように様々なプロジェクトに取り組まれているのか”を多くのデータや資料を示しながら、わかりやすくお話しされました。

「福岡100」の取組の一つであり、認知症フレンドリーシティを目指すために重要な「ユマニチュード®」という認知症コミュニケーション・ケア技法についてのお話は大変興味深いものでした。福岡市では、「ユマニチュード」を広めるために、市内の小中学校・公民館・消防・救命救急に携わる方々がいらっしゃる場所などで講座を行っているとのことでした。

荒瀬先生は、状況やデータを分析し、将来を見据えて施策を立てることが大切であるとおっしゃいました。また、情報やデータ分析等様々な場面において、本学との連携にも期待されていました。最後に語られた「これからもみんなが生き生きと優しく、尊敬の気持ちを持って暮らせるまちをつくっていきたい」とのお気持ちに深く感銘を受けました。

当日は多くの皆様にご参加いただきました。誠にありがとうございました。



福岡市副市長
荒瀬 泰子 先生



開会挨拶
九州大学大学院
歯学研究院長 西村 英紀先生



来賓ご挨拶
九州大学 神崎 智子 理事



主催者挨拶
九州大学病院
臨床教育研修センター長
新納 宏昭先生



講評・閉会挨拶
きらめきプロジェクト
顧問 榎木 晶子 先生



司会進行
きらめきプロジェクト
プログラム責任者
加藤 聖子 先生



講演会の様子